二月廿日に友どち誘ひして上野の花
見まかりぬるに程経てありてえまかりに
なりぬまうの日は亡父の忌日なれば下
谷乃菩提院へまかりて

墓ほとすむや上野の花乃雲

寺といふ庵なれは東叡山のうしろ
程近くあり乃をりて
御築地乃ほとりいと静かなるに

緋細寸

石の間より
跳すしや初かはづ

清水の藤堂より不忍の池を
のぞむ

はゝの柳ほとりの寂なるを

こぞ春ふと杉ひしんせを
杉むらに

伊まの花の木つゞや記たる哉

庚戌仲春

夏成美

七七

6